

地域で一体的に取り組むイノシシやシカの被害防止対策②

1 要旨

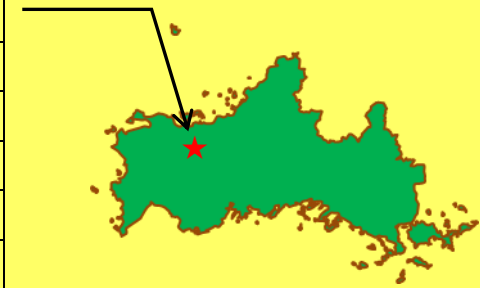
長門市の三ヶ村地区では、既存の防護柵の老朽化による破損箇所や河川からの侵入が多く見受けられ、特に、水稻被害が甚大で、営農意欲に多大な影響を及ぼしてきた。

このため、地区住民による適切な既設防護柵補修及び強固な侵入防止柵を設置するとともに、地元猟友会と連携し、箱わなを整備し集落ぐるみの計画的かつ効率的な捕獲を実施した結果、獣害軽減の効果が見え始めた。

2 地区の概要

地区名	長門市深川湯本三ヶ村地区
戸数	78戸（うち農家58戸）
耕作面積	田32.9ha、畑0.23ha
主な作物	水稻、野菜
加害獣種	イノシシ、シカ
対策実施年度	令和元年度

長門市深川湯本 三ヶ村地区



3 被害の状況と課題

○既設侵入防止柵の老朽化による破損箇所や河川からの侵入が多くみられ、イノシシによる圃場や畦畔の掘り起しやシカによる甚大な水稻被害があり農業者の営農意欲に多大な影響を与えており、地域一体となった効果的な対策が必要となった。

4 取組内容

(1) 集落環境調査の実施

- 定期的な見回りによる有害獣の移動ルートの確認
- 既存の侵入防止柵の点検を実施



侵入経路の確認

既存侵入防止柵破損箇所調査

(2) 調査結果の基づく対策の実施

- ①既存侵入防止柵の補修を集落ぐるみで適切に実施した。
- ②地元猟友会と連携し、イノシシ、シカの捕獲用箱わなを整備し、集落ぐるみの計画的かつ効率的な捕獲を実施した。
- ③「鳥獣害に強い集落づくり事業」を活用し、新たなイノシシ・シカ共用の侵入防止柵及び箱わなを追加設置した。



三ヶ村地区被害状況図



設置した侵入防止柵及び箱わな

5 取組の成果

○河川部からのイノシシ、シカともに侵入を防止でき、設置直後は被害が減少した。その後、シカの侵入ルートが変わったことなどにより、新たな被害がみられる。一方、住民の意識啓発も進み、被害防除に対する意識を向上させることができた。

(千円)

被害額	令和元年度	令和2年度		令和3年度		令和4年度	
	実施前	実績	増減	実績	増減	実績	増減
シカ	250	190	▲60	150	▲100	—	—
イノシシ	150	120	▲30	50	▲100	—	—

6 地区代表者のコメント

侵入防止柵やわなの設置直後は、被害が減少したが、シカの増加と侵入ルートが変わったことで、また被害がみられるようになった。今後は、新しい侵入ルートに対応した対策とっていく予定である。

7 今後の取組

当地区では、地域住民や地元猟友会と連携し、一体となって、効率的にイノシシやシカ被害の軽減を図っている。今後も定期的な見回り点検を行い、地域ぐるみで効果的な鳥獣被害防止対策を推進していきたい。